

第1分科会(予測部会) 第2次活動報告

1. 第1分科会の活動テーマ

津波予測や被害想定に関する既往の調査・研究成果を整理・評価したうえで、予測精度の向上に向けて現状の課題を整理し、より適切な津波被害想定を行うための方針や体制づくりの検討を行うとともに、津波災害の啓発活動のための資料作成を行う。

2. これまでの活動報告

回	開催日	会場	議事・その他
第1回	2003.09.03	(財)日本気象協会 関西支社会議室	H15年度の分科会活動テーマについて
第2回	2004.01.22	(財)日本気象協会 関西支社会議室	分科会WGの今後の活動方針について
第3回	2004.08.04	(財)日本気象協会 関西支部会議室	H16年度分科会WGの今後の活動方針について
第4回	2004.02.23	(株)ニュージェック 会議室	分科会WGの今後の活動方針について 第2分科会との合同分科会
第5回	2005.10.13	梅田スカビル タワーウエスト F22 会議室	H17年度分科会の今後の活動方針について
第6回	2006.02.03	国際航業(株)関西技術 研究所 会議室	H17年度分科会の今後の運営検討 会員からの話題提供

3. 活動内容の概要

(1) 第1回の概要

【議事次第】

日時：2003年9月3日(水) 14:00～17:00

場所：(財)日本気象協会関西支社 会議室(15F)

議事：1) 会長挨拶

2) 自己紹介と地震津波防災への取り組み状況

3) 分科会の活動方針について

アンケート結果報告

他分科会の状況

ワーキンググループの設定

今後の活動スケジュール

4) 会員からの話題提供

中央防災会議専門調査会について(応用地質(株) 根本 信)

大都市大震災軽減化特別プロジェクトの研究状況

(人と防災未来センター専任研究員 越村 俊一)

5) その他

【参加者数】 11名

【主な内容】

1) 第1回分科会の議事次第説明

- ・第1回分科会にあたり部会長の挨拶と自己紹介を行った。

2) 今後の活動方針についての討議(自由討議)

- ・先に実施した第一分科会のWGテーマ設定のためのアンケート調査集計結果に基づきテーマの絞込みを討議し次の5つに絞込んだ。この5つのテーマで再度研究会全体に募集を行い、テーマ毎に仮リーダーを決めて仮リーダーを中心に調整をして進めていくことに決まった。詳細はテーマ毎で決めていく。

(1)津波予測のリアルタイム化(WGR:田中秀雄)

(2)津波予測の高度化(WGR:三島豊秋)

(3)津波予測危険度評価(WGR:森浦光一)

(4)津波予測評価事例(WGR:根本 信)

(5)地震被害予測(WGR:西岡陽一)

3) 話題提供

- ・話題提供「中央防災会議専門調査会について」(応用地質(株) 根本)
中央防災会議「東南海・南海地震等に関する専門調査会」における検討内容について公表資料に基づいて説明。
- ・話題提供「大都市大震災軽減化特別プロジェクトの研究状況」
(人と防災未来センター専任研究員 越村俊一 *(代理)国際航業(株) 西岡)
越村先生が都合により欠席のため、「南海トラフで発生する巨大地震津波による広域被害想定:巨大災害研究センター教授 河田恵昭」、「南海地震津波に対するアスペリティの影響評価:秋田大学 工学資源学部助教授 高橋智幸」の資料に基づき説明。

(2) 第2回の概要

【議事次第】

日時:2004年1月22日(木) 14:00~16:30

場所:(財)日本気象協会関西支社 会議室(15F)

議事: 1) 会長挨拶

2) 分科会の活動方針について

再アンケート結果報告

ワーキンググループの研究活動方針の検討

今後の活動スケジュール

3) 会員からの話題提供

三重県志摩郡浜島町での出前研究会報告

((財)日本気象協会 鈴木)

未来防災センターでの炊き出しイベント報告

((株)アニメックス 榊原)

中央防災会議の状況報告（国際航業（株）西岡）

4) その他

【参加者数】 12名

【主な内容】

- 1) 第2回分科会の議事次第説明
 - ・部会長の挨拶と自己紹介を行った。
 - ・第1回分科会議事録の説明を行った。
- 2) 今後の活動方針についての討議（自由討議）
 - ・第1回分科会で絞り込んだ5つのWGテーマに対する再アンケート調査集計結果に基づいて、第1分科会でのWGテーマについて討議した。次の4つのWGテーマで活動を進めることになった。
 - (1)津波予測のリアルタイム化(WGR：田中秀雄)
 - (2)津波予測の高度化（津波予測評価事例を含む）(WGR：三島豊秋)
 - (3)津波予測危険度評価(WGR：森浦光一)
 - (4)地震被害予測(WGR：西岡陽一)
- 3) 話題提供
 - ・話題提供「第23回 東海・東南海・南海地震津波研究会 開催報告」
(日本気象協会 鈴木)
三重県志摩郡浜松町で開催された「第23回 東海・東南海・南海地震津波研究会」の概要について報告。
 - ・話題提供「人と防災未来センター「炊き出しイベント」の開催報告」
(株)アニメックス 神原)
人と防災未来センターで開催された「炊き出しイベント」の概要について説明。
 - ・話題提供「中央防災会議の最新情報について」(国際航業(株) 西岡)
第8回中央防災会議資料に基づいて、中央防災会議の最新の動向について報告。

(3) 第3回の概要

【議事次第】

日時：2004年8月4日（木） 14:00～17:00

場所：(財)日本気象協会関西支社 会議室（15F）

議事： 1) 会長挨拶
2) H16年度の分科会WG活動方針について
3) 会員からの話題提供
4) その他

出席者数：12名

【主な内容】

- 1) 第2回分科会の議事次第説明
 - ・部会長の挨拶と自己紹介を行った。
 - ・第2回分科会議事録の説明を行った。
- 2) 今後の活動方針についての討議（自由討議）

- ・資料「第1分科会のWGテーマ設定の再アンケート調査集計結果」について説明があった。
- ・第1回分科会で絞り込んだ5つのWGテーマに対する再アンケート調査集計結果に基づいて、第1分科会でのWGテーマについて討議した。次の4つのWGテーマで活動を進めることになった。
 - (1) 津波予測のリアルタイム化(WGR：田中秀雄)
 - (2) 津波予測の高度化（津波予測評価事例を含む）(WGR：三島豊秋)
 - (3) 津波予測危険度評価(WGR：森浦光一)
 - (4) 地震被害予測(WGR：西岡陽一)

3) 話題提供

- ・話題提供「第23回 東海・東南海・南海地震津波研究会 開催報告」(日本気象協会 鈴木)

三重県志摩郡浜松町で開催された「第23回 東海・東南海・南海地震津波研究会」の概要について報告。
- ・話題提供「人と防災未来センター「炊き出しイベント」の開催報告」(㈱アニメックス 榊原)

人と防災未来センターで開催された「炊き出しイベント」の概要について説明。
- ・話題提供「中央防災会議の最新情報について」(国際航業㈱ 西岡)

第8回中央防災会議資料に基づいて中央防災会議の最新の動向について説明。
- ・話題提供の後活発な質疑応答で盛り上がり終了となった。

(4) 第4回の概要

【議事次第】

日時：2005年2月23日(水) 14:00～17:00

場所：㈱ニュージェック 会議室(8F)

議事：1) 第1・2共通講演(別紙参照)

2) 会長挨拶

3) 平成16年度分科会活動状況報告と今後の進め方

4) その他

出席者数：19名(内 第2分科会9名)

【主な内容】

1) 合同分科会の議事次第説明

- ・第1分科会、第2分科会部会長の挨拶と自己紹介を行った。

2) 話題提供

- ・話題提供「2004年スマトラ沖地震津波のKhao Lak、Phuket、Phi Phiにおける現地被害調査報告」(京都大学防災研究所 原田賢治 先生)
- ・話題提供「気象庁：緊急自身速報を使った工場警報システムの導入事例と稼働状況の紹介」(第2分科会 株式会社 栗本鐵工所 北条氏)

- ・話題提供の後活発な質疑応答で盛り上がり終了となった。
- 3) 今後の活動方針についての討議(第1分科会、第2分科会別に自由討議)
 - ・資料について説明があった。
 - ・第1分科会の第3回分科会で絞り込んだ4つのWGテーマ別に活動状況の説明を行った。
 - (1)津波予測のリアルタイム化(WGR:鈴木善光 代理)
 - (2)津波予測の高度化(津波予測評価事例を含む)(WGR:三島豊秋)
 - (3)津波予測危険度評価(WGR:森浦光一)
 - (4)地震被害予測(WGR:西岡陽一)
- 4) 決定事項
 - ・第1分科会の参加者全員で今後のWGの取り組みと来年度に成果(津波ハンドブック改訂版(仮名))を出して行く目標で予定スケジュールに従って進めて行くことで参加者の合意を得た。

(5) 第5回の概要

【議事次第】

日時: 2005年10月13日(木) 13:30~16:00

場所: 梅田スカイビル タワーウエスト F22 (C会議室)

議事: 1) 会長挨拶

2) 津波版「被災者学」の中止に伴う第一分科会の活動方針の再検討

3) NPO法人化について

4) 会員からの情報提供

5) その他

出席者数: 9名(内ワザバ-1名)

【主な内容】

1) 津波版「被災者学」の中止に伴う第一分科会の活動方針の再検討

- ・津波版「被災者学」執筆の状況と中止のお知らせ。
- ・アンケート結果を説明した。
- ・今後の方針について次のような議論があった。
 - 当初設定した4つのテーマに沿った活動に戻しても良いのではないか。
 - 各機関等から津波に関するマニュアル等が発行されることから、時間的な制約もあり、意味のあるマニュアルを作成するのは困難ではないか。
 - まずは、既往の検討・研究結果のレビューを行い、データベース的なものを作成しても、会員等にとっては意味があるのではないか。
- ・第一分科会として何か成果を残すためにも、まずはメンバーで手分けして既往の検討・研究結果のレビューを行うことになった。
- ・その後の方針は、再度検討することになった。

2) NPO法人化について

- ・地震津波研究会のNPO法人化に関して、現状での状況、法人化後の方針等に

ついて説明があった。

・NPO 法人化後の活動方針、会費等に関する質疑・応答があった。

3) 会員からの話題提供 (西岡陽一: 国際航業株)

・和歌山県作成の防災啓発ビデオ

(6) 第6回の概要

【議事次第】

日時: 2006年2月3日(金) 14:00~17:00

場所: 国際航業(株) 関西技術所 7F 大会議室

議事: 1) 整理する津波関連情報、スケジュール、今後の運営方針等

2) 会員からの話題提供

3) その他

出席者数: 7名(内オブザーバー1名)

【主な内容】

1) 講演「紀伊半島沖地震津波について」(小池信昭: 和歌山工業高等専門学校)

・2004年紀伊半島沖地震の概要

・津波の打ち上げ高に関する現地調査

・津波情報の収集・伝達に関するアンケート調査

・GPS津波計の記録と数値シミュレーションの比較

防災上の課題

2) 話題提供「港湾における津波対策業務の概要」(柴木秀之: 株エコー)

・港湾に求められる防災機能の検証

・津波災害に対する防護機能関連調査における今後の課題及び実施方針

・津波関連調査の変遷

・事例紹介(細島港、高知港)

3) 第31回臨時総会の結果

・NPO法人化に向けての取り組み状況

・今後の研究会活動について

4) 今後の分科会活動について意見交換

・既に東北大今村先生等による津波辞典の作成が進められている(今回提示したキーワード案に近い項目となる可能性もあり?)

・情報キーワードを基にした津波情報ポータルサイトのものをイメージするならば、維持管理が困難。分科会ではなく研究会で取り組むべきではないか。

・文献や論文を掲載するとしたら執筆者の合意が必要となり大変である。

・最新の話題や技術に関する話題提供を研究会員や最前線の研究者に依頼し、その内容とディスカッション結果をとりまとめて分科会活動成果とし、順序HPに掲載する方向が良い。また、取り上げる話題は例えば定期的に分科会員等にアンケートを行い決めたら良い。

・現実的に取り組める内容とすべきである。アンケートにより、上記内容についての分科会員の意見を聞き運営方針を決定する。

4. 第1分科会の会員(23名:平成18年3月31日現在)

岩瀬 浩之	(株)エコー 沿岸デザイン本部環境水工部	主任
小川 裕	四国電力(株) 土木建築部地盤耐震グループ	
蒲池 孝夫	関西電力(株) 土木建設室原子力火力建築グループ	
栗山 利男	(株)構造計画研究所 防災環境部地震防災室	室長
小池 信昭	和歌山工業高等専門学校 環境都市工学科	助教授
榊原 弘	(株)東京建設コンサルタント 関西支店	プロジェクト マネージャー
坂森 正則	芦屋市 総務部	次長
柴木 秀之	(株)エコー 沿岸デザイン本部環境水工部	部長
多田 隆司	関西電力(株) 土木グループ	マネージャー
田中 秀雄	(財)日本気象協会首都圏支社 調査部応用気象課海洋グループ	主任技師
津田 宗男	東亜建設工業(株) 西日本設計センター	課長代理
中垣 壽	(財)日本気象協会関西支社 調査部	部長
西岡 陽一	国際航業(株) 公共ビジネス事業本部プロジェクトマネージャー室	部長
西畑 剛	五洋建設(株)技術研究所	主任
根元 信	応用地質(株) 技術本部地震防災センター	
原崎恵太郎	(株)エコー 沿岸デザイン本部環境水工部	課長
藤澤 康雄	(株)大林組技術研究所 技術企画部情報グループ	主任研究員
保志 克則	(株)構造計画研究所 防災環境部環境評価室	室長
町田 岳	(株)東京建設コンサルタント関西支店	主任技師補
松浦 邦明	(財)日本気象協会首都圏支社 調査部応用気象課海洋グループ	主任技師
三島 豊秋	(株)ニュージェック 港湾・海岸グループ	マネージャー
元木 幸男	徳島県 防災局南海地震対策課	主幹
森浦 光一	(株)ハイドロソフト技術研究所	取締役

注) 会長 幹事